

まちづくり交付金 事後評価シート
川中地区

平成21年12月

山口県下関市

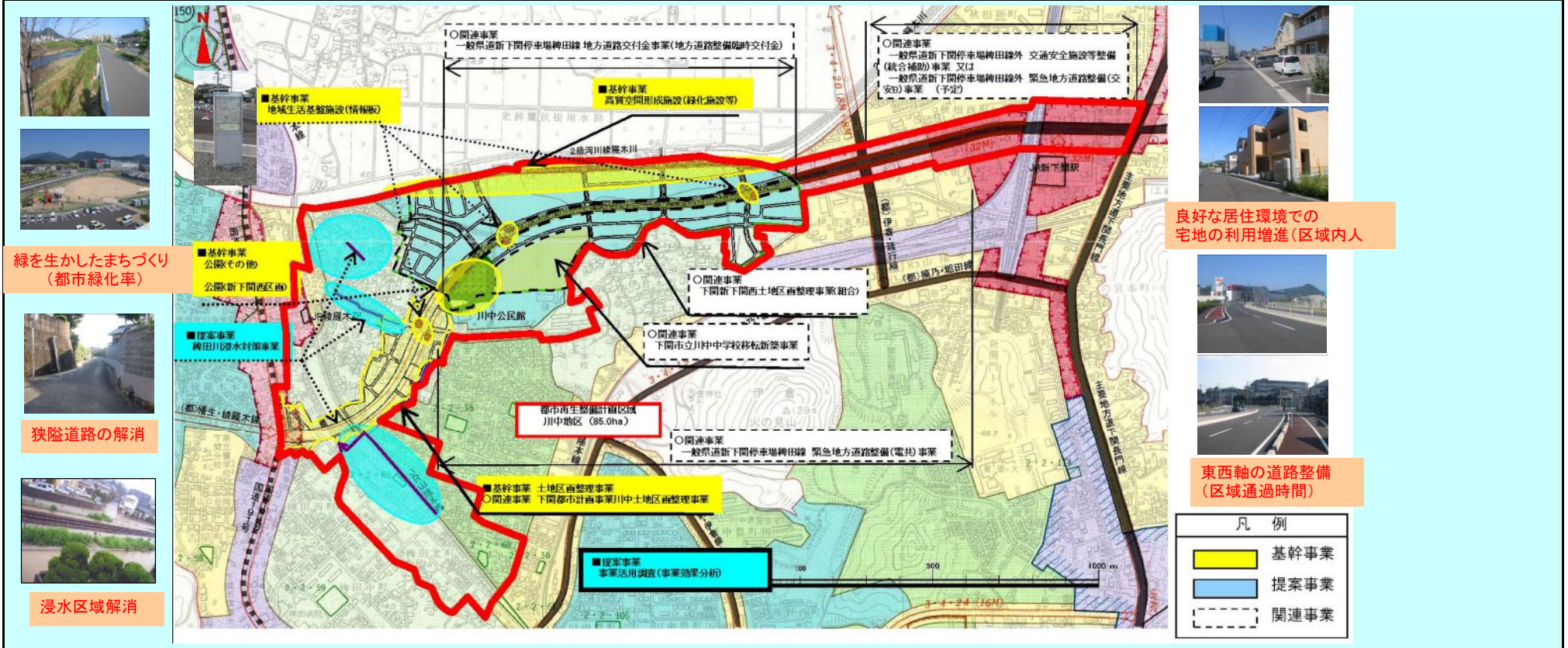
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	下関市		地区名	川中地区			面積	85ha			
交付期間	平成17年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	1,345	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	公園(新下関西土地区画整理事業内)、地域生活基盤施設(情報板6箇所)、高質空間形成施設(植栽・緑化施設)、土地区画整理事業(川中地区)										
			提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			基幹事業	公園(1～3号街区公園)、地域生活基盤施設(広場、情報板2箇所) 高質空間形成施設(自転車歩行者道(カラー舗装等))			整備時期の変更により削除。			モニタリングにより指標を修正し、影響なし。				
			提案事業	なし										
	新たに追加した事業		基幹事業	なし										
			提案事業	地域創造支援事業(浸水対策)			浸水被害が発生し、地元要望により追加。			新たな指標を設定し、まちづくりの目標とした。				
	事業活用調査(事業効果分析)		今後のまちづくりを検討するため追加。								影響なし			
交付期間の変更	当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更													
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	都市緑化率	%	6.2	H16	11.5	H21	モニタリング	評価値	○	あり	学校、公園、植樹帯などが整備でき、新下関西地区を中心として緑を生かした快適な住環境の形成が図られた。	平成22年5月1日	
	指標2	区域内人口	人	1,800	H16	2,400	H21	1,800	2,400	○	あり	土地区画整理事業等の実施により良好な宅地を供給するとともに、幹線道路整備により利便性が向上した。また、道路沿道に地域住民が利用する商業・業務施設の立地が進み、住環境の向上が図れ、区域内の人口増加を促進できた。	平成22年5月1日	
	指標3	区域通過所要時間	分	10	H16	6	H21	6	6	○	あり	都市計画道路長府綾羅木線の部分開通(全体の7割)により区域内の通過所要時間を短縮でき、東西方向の交通網の強化を図ることができた。		
	指標4	狭隘道路延長	m	4,680	H16	471	H21	613	180	○	あり	狭隘道路を改善することにより、災害時の避難や救助活動などの防災対策の充実を図り、安全性の強化を図ることができた。		
	指標5	浸水区域	ha	1.78	H17	0	H21	1.78	1.78	△	あり	●	新たな排水施設の整備完了により浸水被害を解消し、安全性を確保することができる。	平成22年7月1日
											なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	宅地整備率	%	6.4	H16			43.0	43.0			土地区画整理事業等の実施により利便性、快適性が向上した宅地が増大し、良好な住環境が形成された。		
	その他の数値指標2	道路整備率	%	10.2	H16			21.7	22.0			既成市街地における狭隘道路の再整備及び新市街地における適切な道路整備ができて、安全でかつ利便性の良い道路網が形成できた。		
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 地区内の幼稚園・小学校・中学校の通学路としての歩道が整備されたため、通学時の児童・生徒の安全に大きく寄与した。 都市計画道路長府綾羅木線の整備により新下関駅に連絡する幹線道路が開通し利便性が向上するとともに、沿道宅地において商業・業務施設の立地が進むことにより地域住民の生活拠点ゾーンの形成が図られている。 													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 事業特性及び地域事情を踏まえたモニタリング実施事項の把握 数値目標の確認に必要なデータやサンプルの有無のチェック 			<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 				<ul style="list-style-type: none"> 引き続き行うまちづくりにおいても、事業実施期間中において事業評価を行う。 					
	住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 公園設計における住民参加(ワークショップ) 地元自治会の協議会での公園計画の説明 			<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 				<ul style="list-style-type: none"> 第二期計画においても地元住民の意見を反映させた公園事業を実施したい。 今後も関係者の理解を得ながら、まちづくり事業を継続していきたい。 					
	持続的なまちづくり体制の構築	なし			<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 									

様式2-2 地区の概要

川中地区(山口県下関市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 都市基盤施設の整備を行い、新市街地の形成と既存市街地の再構築及び交通網の整備改善による利便性の向上	都市緑化率	6.2	11.5	11.5
目標1 緑を生かした快適住環境のまちづくり	区域内人口	1,800	2,400	2,400
目標2 市内東西方向の幹線道路のネットワークを強化する。	区域通過所要時間	10	6	6
	狭隘道路延長	4,680	471	180
	浸水区域	1.78	0	1.78



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 地区西部の既成市街地において、狭隘道路の解消による防災性の向上と公園・広場の整備による快適なまちづくりが残されている。 浸水対策の水路整備に伴って下流部の排水路において流下能力が不足することになり、この対策が必要になっている。 幹線道路沿道に大型商業施設等の立地が進んでいることから、これらの関連交通と生活交通を分離し、地域住民の自動車交通・歩行の利便性と安全性を確保することが必要である。 より暮らしやすい住環境の充実を図る上で、安全で安心できる環境づくりを図る必要がある。 良好な住環境を充実し、持続していく上では、地域住民との協働により、コミュニティ活動の活発化を促進することが必要である。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 基盤施設の整備はほぼ達成されたので、今後は利活用のためのソフト施策を住民との協働により検討し、住環境の保全、充実を図る。 地区西部の既成市街地において、残されている狭隘道路の解消と公園・広場の整備により快適な住環境の形成を図る。 浸水区域解消のための排水を河川へ安全に放流するため、下流部の排水路網の流下能力の向上を図る。 都市計画道路沿道に立地する大型商業施設の関連交通を生活道路から排除するため、東西両側の主要な幹線道路に連絡させて地域外からの交通を円滑に処理するとともに、生活道路の交通安全施設、交通管理施設の整備を検討する。 より暮らしやすい住環境の充実を図るため、災害時の備蓄機能や防犯施設の整備を検討し、安全性の向上と安心できる環境の形成を進める。 持続的なまちづくり活動を促進するため、まちづくり勉強会の開催やまちづくり活動及び啓発の支援を検討し、まちづくり組織の活力向上を促進する。